第４３回東海地域クラブ男子・女子ソフトボール選手権大会

兼　第４３回全日本クラブ男子・女子ソフトボール選手権大会東海地区予選会

大　会　要　項

１　主　　　催　　東海ソフトボール協会

２　主　　　管　　一般社団法人三重県ソフトボール協会、亀山ソフトボール協会

３　期　　　日　 〔男子〕

第１日目　 令和４年５月１４日（土）（監督会議、開会式は開催しません。）

　　　　　　審判・記録会議　 　９時３０分（関B&G海洋センタートレーニングルーム）

競　技　開　始　 １１時３０分（関総合スポーツ公園多目的グラウンド）

　　　　　　　　　　　　　　 １１時３０分（いがまちグラウンド）

第２日目　 令和４年５月１５日（日）

競　技　開　始　　 ８時３０分（関総合スポーツ公園多目的グラウンド）

予 備 日　 令和４年５月１６日（月）

令和４年５月２２日（日）

〔女子〕

第１日目　 令和４年５月１５日（日）（監督会議、開会式は開催しません。）

　　　　　　審判・記録会議　　　９時３０分（東野体育館会議室）

競　技　開　始　　１１時００分

予 備 日　 令和４年５月１６日（月）

令和４年５月２２日（月）

４　会　　　場　 〔男子〕

関総合スポーツ公園多目的グラウンド（亀山市関町新所８）

いがまちグラウンド（伊賀市愛田３４６）

〔女子〕

亀山市東野公園ソフトボール場（亀山市川合町１２８６-４９）

５　参加資格　　令和４年度公益財団法人日本ソフトボール協会に各支部を通して加盟登録したチームで、各県から推薦されたチームとする。

６　チーム編成　　監督１名、コーチ２名、スコアラー１名、トレーナー１名、選手２５名以内。

ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。

※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。

※監督・コーチの中で次の①～②のいずれかの資格を有する者がいること。

　監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者（監督代行になり得る者）がいなければならない。

①公認コーチ１～４

（公認ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ指導員・上級指導員・公認ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾁ・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ上級ｺｰﾁ）

②公認準指導員

７　チーム数　　男子：各県２チーム　計８チーム

女子：各県１チーム　計４チーム（３チーム以下となる場合もある。）

８　試合方法　　（１）トーナメント方式で行う。ただし女子の参加チーム数が３チームの場合はリーグ戦による。

（２）７回を終了して同点の場合は、８回からタイブレークにより勝敗が決するまで行う。

（３）得点差によるコールドゲームは、3回15点、4回10点、5回以降7点差　以上とする。

（４）サスペンデッドゲームを採用する。

９　競技規則　　2022年度オフィシャルソフトボールルールによる。

10　試　合　球　　革製検定３号球（男子：ナガセケンコー、女子：内外ゴム）とし、主管協会で準備する。

11　組み合わせ　　別紙のとおり（令和４年１月１８日の東海協会理事会で決定済）

12　表　　　彰　　優勝チームには表彰状並びに優勝杯及び優勝盾、準優勝・第三位チームには表彰状を授与する。

13　申込み方法　　参加資格を得たチームは、参加料の振り込みとともに、参加申込書1通を

**令和４年４月２２日（金）必着**で、下記宛に送付すること。（予選が完了せず、期限までに送付できない場合は、予選完了後速やかにメールにてプログラム 掲載用参加申込書データ（excelファイル）を先に送付すること。）

　　　　　　　　　※参加申込書は三重県ソフトボール協会ホームページ

　　　　　　　　　　　<https://www.mie-softball.jp/>　　からダウンロードできます。

〒519-1108　三重県亀山市関町小野１２７

亀山ソフトボール協会

勝　田　利　男　宛

ＴＥＬ 0595-96-1693 携帯　090-7691-5185

E-mail: hayakawa8.ehe@outlook.jp

（参加申込書、参加料振込通知書の写し、チーム連絡票を送付すること。）

14　参　加　料　　１チーム　２５,０００円

　　　　　　　　　※参加料は下記宛にチーム名でお振込みをお願いします。

なお、振込手数料はチームにてご負担願います。

［振込先］　銀行名　三十三銀行　亀山中央支店

口座番号　普通　１０８０３４６

口座名義　亀山ソフトボール協会　事務局長　勝田　利男

15　監督会議　　開催しません。なお、申込書記載事項の誤記の修正(登録の変更は認められません。)、監督代行・主将代行に関する申し出は、別添「登録内容修正等申出書」を競技会場の受付へ提出して行ってください。提出期限は、第1日目の試合開始予定時刻の1時間前までとします。

16　傷　　　害　　（１）大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急処置の他、主催者は一切責任を負わない。

（２）参加者は全員健康保険証を持参すること。

17　そ　の　他　　（１）出場チームは必ず監督等によって引率され、監督は選手のすべての

行動に対し責任を負うものとする。

（２）雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。

（３）宿泊及び昼食については、下記の亀山ソフトボール協会に事前に連絡するか各チームにて手配するものとする。

（４）ベンチに入ることができる人数は、本大会登録人数とする。

（５）天候不順で、競技開催不明の場合は、必ず大会本部に問い合わせてから

態度を決定すること。（６時３０分以降）

（６）男子は第三代表決定戦を行う。

（７）新型コロナウイルス感染防止のため、日本協会ガイドライン及び別添

　　　「三重県ソフトボール協会新型コロナウイルス感染症対策に関する大会

　　　運営ガイドライン」を順守すること。

（８）その他詳細については、参加チームに直接連絡する。

(９) 全日本大会について

男子：７/２３～２５　北海道札幌市・石狩市（東海より3チーム出場）

女子：７/２３～２５　兵庫県たつの市・相生市（東海より2チーム出場）

**大会に関する問い合わせ先（大会事務局）**

　　〔大会本部連絡先〕（雨天時連絡先）

　　　　　　　　　　　　　　　草川　輝昭　090-3308-4792

　　　　　　　　　　　　　　　米川宗太郎　090-8953-2074

〔主管協会〕〒519-4325 　三重県熊野市有馬町506-8

　　　　　　　　　　　　　　 （一社）三重県ソフトボール協会　事務局長　雑賀　大策

ＴＥＬ　090-2137-4757　ＦＡＸ　0597-89-1079

Ｅmail pw277478@xc5.so-net.ne.jp

〒519−0142 　三重県亀山市天神4−12−22−15

　　　　　　　　　　　　　　　亀山ソフトボール協会　理事長　草川　輝昭

ＴＥＬ　090-3308-4792

〔宿泊関係〕〒519-1111 三重県亀山市関町新所664−2

 （一社）亀山市観光協会　本間　一也

 ＴＥＬ　1595-97-8877 ＦＡＸ 0595-96-0700

Ｅmail innfo@kameyama-kanko.com

令和３年２月17日

三重県ソフトボール協会

新型コロナウイルス感染症対策に関する大会運営ガイドライン

　三重県ソフトボール協会が主催し、又は主管する大会を開催するにあたり、開催できる前提条件として、安全に大会運営を行うため、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を最大限に講じつつ、大会に関与するすべての関係者のご理解と誠意ある対応が必要なことから、以下のとおり大会運営ガイドラインを定める。

１.対象となる大会

　 三重県ソフトボール協会が主催する三重県大会

　 三重県ソフトボール協会が主管する東海地域大会等

２.コロナウイルス感染症の感染予防対策

1. 開会式は実施しない。
2. 各自、手洗い、うがいを徹底して行う。
3. 試合に参加するすべてのチーム構成員、審判員、記録員のマスク着用を認める。
4. 攻守順の決定の際や打順表確認の際の主将、監督、審判員の握手は行わない。（可能な限り、お互いの距離をあける。）
5. 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了後も同様とする。
6. チームの監督又はその代行者は、必ず来場前にチーム構成員全員の体調を確認し、受付時に別添「健康状態申告書」により競技委員長に報告すること。

なお、発熱や倦怠感、嗅覚や味覚に異常がある等体調の悪い構成員及び大会前2週間以内に陽性とされた方との濃厚接触をされた方、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方は来場を禁止する。

1. 参加申込後に、チーム内に感染の恐れがある者がいる、または自主的に感染予防を図ることを理由として、チームの編成に必要な人数が欠員となり、大会を棄権してもこれに対するペナルティーは課さない。

３.競技上（練習を含む。）の留意点

1. バット、ヘルメット、グラブ・ミット、打撃用手袋、ロジンバックなどは各選手が使用し、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具については、チームの責任において、こまめに消毒を行う。
2. 試合中に使用するロジンバックは、各チームが用意する。（使用前に審判員の確認が必要）
3. 唾を吐く行為を禁止する。
4. 選手、特に投手は指を舐めてはいけない。
5. 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける。
6. グラウンドレベルでの円陣は控える。
7. ベンチ内での選手間の距離は、できるだけ２ｍ（最低１ｍ）確保する。
8. 声援や指示を出す場合は、大声の発生を控え、対人距離に注意する。
9. 監督、コーチが審判員に近づく際に最低２ｍの距離を保つ。
10. タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける。

４.情勢の変化等に対する対応

　大会開催直前であっても、情勢の変化や上部団体、関係行政団体の指導等により、急遽大会を延期または中止する場合があることをあらかじめ了知いただきたい。

５.その他（重要事項）

　　参加希望チームは、本ガイドラインに定めるもののほか、コロナウイルス感染予防・競技上の留意点を十分に理解した上で大会に参加すること。

万一、徹底事項に明らかな違反が認められた時点で没収試合となることもある。

（違反チームの不戦負け）

沿革

　令和3年2月17日　制定